

# 頼中ICTフォーラムがテレビ放映

1月15日に、ICTを日常化した新しい教育のカタチを探る「教育の現代化」実践フォーラム（頼原中学校主催）の収録が行われました。収録では、同校の久村真司校長が「これからのICT教育」教育の現代化」と題し講演。教員とコーディネーターによるパネルディスカッションと、生徒によるICT端末の活用事例発表が行われました。

本フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の影響により、ケーブルテレビでの放映に変更。2月26日、27日で、3時間おきに放映予定です。



「ICTを日常化することで、効率化を図り、効果の高い教育を実現します」と久村校長



県内の学校から寄せられた質問に答える教員とコーディネーター



iPadを使いながら、これまでの活用事例を説明する生徒

# 包括連携協定を締結

2月3日に、本町と明治安田生命保険相互会社との間で「包括連携協定」を締結しました。

同社の持つノウハウやネットワークを生かし、「町の情報発信」「結婚・子育ての支援」「産業・観光の振興」「健康増進」などに取り組んでいきます。

瀬戸康広松江支社長は「弊社のスローガンは『ひとに健康を、まちに元気を』です。本協定の取り組みが、住民の皆さんの健康寿命の延伸や、地域の活性化に繋がれば」と話していました。



瀬戸松江支社長(左)と塚原町長(右)

# 宝くじは、広く社会に役立てられています

野萱地区自主防災会が「宝くじ地域防災組織育成助成事業」の助成を受け、発電機をはじめとした防災用品を整備しました。

地域防災組織育成助成事業は、(二財)自治総合センターが、地域の防災意識の醸成と防災力の向上を図るため、宝くじの受託事業収入を財源として実施しています。



来島交流センター(2階)に保管

# 楽しさいっぱい!! 図書館探検

**飯南町立図書館**  
 中央図書館 76-2160  
 頼原図書館 72-0301  
 閉館時間変更(頼原図書館)  
 ●4月~10月 18時まで  
 ●11月~3月 17時まで



## ●図書館ボランティアを募集

現在7人がボランティアで、書架を整理したり、郷土資料を整備したりしています(月1回、1~2時間)。本が好きな人や、「図書館のことをもっと知りたい」という人は、図書館ボランティアとして一緒に活動してみませんか。興味がある人は職員にお尋ねください。



令和4年1月末現在、町立図書館の利用登録者数は727人で、個人貸出の総冊数は1万8千冊を超えました。年代別に見ると、10歳未満の利用が最も多く、次いで40代、60代となっています。

「図書館は本を借りるところというイメージがあるかもしれませんが、近年は楽しいイベントを開催する図書館も多く、町立図書館でもいろいろな企画を用意しています。ぜひ一度、お立ち寄りください。

今年度は、図書(約2千冊)と、本の除菌機を購入しました。除菌機は、風で埃を落とし、紫外線照射でページの中まで除菌します。いろいろな手に渡る図書館の本ですが、二冊ずつ除菌しているので、安心してご利用ください。

# まちを元気に!地域おこし協力隊

町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、協力隊連絡会や各隊員の地域活動への参加状況を報告します。

令和4年2月現在、飯南町には9人の地域おこし協力隊員が活動しています。隊員は、町内各所で活動に取り組んでいます。2、3カ月に一度、全員が集まり、連絡会を開いています。連絡会では、隊員同士の連携と交流を深められるよう、一人一人の活動状況を共有し、自由に意見を交換します。昨年に開催した連絡会では、(一般)しまね協力隊ネットワークから講師を招いて、3年間の任期と今後の活動計画を作るワークショップを行いました。活動全体を見直し、将来を考える機会となり、有意義な研修となりました。

ぜひ地域おこし協力隊員にもお声掛けください。



隊員全員で活動計画づくり



消防団などの地域活動にも積極的に参加